

堆肥活用  
の効果

## 土づくりの徹底

高品質みかん生産の基本となる堆肥施用による土づくりを推進できた

## マルチ栽培の推進

堆肥袋をシートの押さえとしても活用することから、効率的なマルチ被覆と堆肥施用体系となり、マルチ栽培の推進と果実品質の向上が図られた

## 堆肥の利用拡大

選果場が袋詰めを一部請け負うことや、誰でも運搬できるサイズに袋詰めすることで、生産者の労力が軽減でき、堆肥の活用が拡大した

堆肥活  
用前  
の  
課題

- ・ 堆肥施用による土づくりが徹底されていない
- ・ 高品質みかんを生産するためのマルチ栽培を推進したい
- ・ 運搬や散布の労力が負担となっていた

## 機械等

袋詰め機

## 農業者のプロフィール

## 農業者名（法人名・組織名）

JAさが大和地区みかん運営委員会

## 作物名

露地みかん

## 栽培面積

130ha

## 所在地

佐賀市大和町

## 散布前の堆肥袋



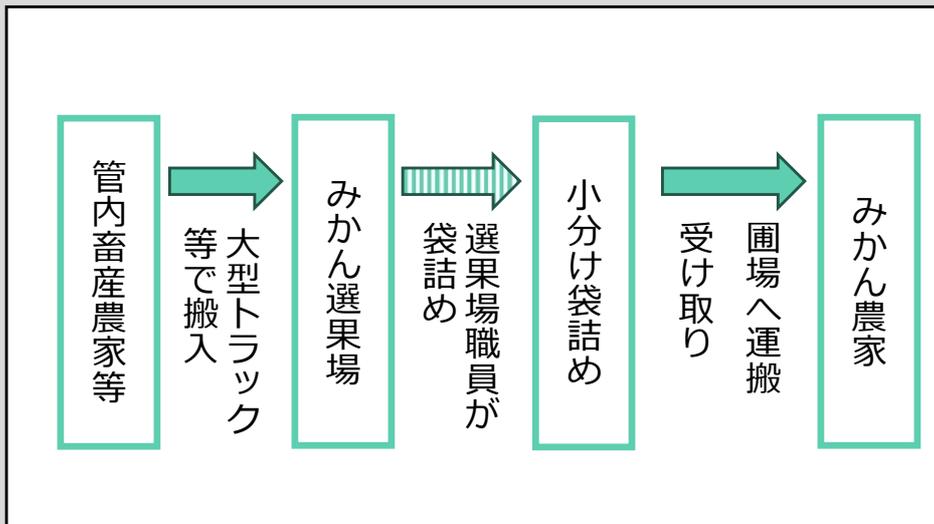
小分け袋により散布量が把握しやすくなった。成木園ではマルチシートの押さえとしても活用されてる。

## 出荷を待つ貯蔵みかん



毎年の堆肥施用により、高品質なみかんが生産されている。

## 耕畜連携の体制図



使用量：約1,200 t

運搬方法：大型トラック等

散布方法：個別

経費の試算

生産者への販売金額  
45円/袋程度 (5kg入り)

## 堆肥ニーズの年間スケジュール



## 活用した耕種農家の感想



- ・マルチシートの重しにしているので、収穫後の散布を忘れない。
- ・誰でも運びやすいサイズに袋詰めされており、いろいろな働き手さんに運搬・散布を頼める。

## 今後の目標・方向

これからも、有機資材の連年投入により、しっかりとした土づくりを行い、高品質なみかん生産を続けていく